

第47回全国少年少女躰道優勝大会

第44回全国高校生躰道優勝大会

埼玉県上尾市：リフロ武道館（埼玉県立武道館）



埼玉県マスコット「コバトン」

令和8年7月26日（日）

主催：NPO 法人日本躰道協会

公認：一社）日本武藝躰道本院

後援：スポーツ庁

埼玉県

（公財）埼玉県スポーツ協会



創造と調和の動く芸術



躰道五条訓

- 一、心明鏡にして諸行の真相を写し
心位正しきを得れば惑さる事なし
- 一、態端正にして心形の一体を固り
態位正しきを得れば侮られる事なし
- 一、氣充溢にして精氣を丹田に発し
氣位正しきを得れば恐れ戦く事なし
- 一、行實踐するに倫理の常道を守り
行位正しきを得れば誤り行う事なし
- 一、技変にして身体を自在に移し
技位正しきを得れば制される事なし

岳雲



躰道への創始

昭和20年第二次世界大戦の末期、玄制流祝嶺正献最高師範は特攻隊員として、沖縄近海で作戦中の敵艦に攻撃の内命をうけ、肉迫必中の術策を懸命に思案。そのときに、旋・運・変・捻・転の運動法則を基にした動態に発想をえて、三次元の運動空間に適応できる実技を編みだした。

昭和21年大分県南海部郡明治村の山中、23年沖縄県国頭郡久志村の海上にある無人島で運技・変技・転技の一部を創作して24年静岡県伊東市において実技を初めて公開。28年から約10年間東京を中心に大学・自衛隊・会社団体等120余の関係道場で実験的に指導するなかで、新武道を創造するための基礎的な内容を整え、37年に旋技・捻技を完成し、各技をまとめて躰技と称するようになった。

昭和38年「躰道」として旋・運・変・捻・転の実技を科学的に解明するために、人間の存在、社会の状態、宇宙の処理等と、武道における公理の根源要素、人格完成の思想との相関関係を基に原理化をはかる。

昭和40年に、動功（操体の原理）制御（相剋の原理）法形（体・制・玄）経絡（陰陽の調整）などと「物理像」「生理像」「心理像」「情緒像」を一元的に体系化して「躰道」を集大成した。

大会役員・大会審判

大会会長 穂坂 泰

大会実行委員会

委員長 坂本 巧(埼玉県躰道協会)
副委員長 山崎 真瑛(東京城東地区躰道協会)
委員 木間 和也(新潟県躰道協会・少年少女委員会委員長)
宇野 友季子(東京城南地区躰道協会)
丹野 喜美男(宮城県躰道協会)
鈴木 史孝(静岡県躰道協会)
村瀬 和都(東京城南地区躰道協会)
二ノ宮 健(埼玉県躰道協会)
小林 誠弥(埼玉県躰道協会)

大会審判

審判長 小林 学
審判員 安部 幸史郎・ヒューゴソン アルヴァル・小松 武・千葉 健志・小林 真由・内田 航太
小林 大輔・中野 哲爾・板山 宜弘・春日 世生・小松 万里子・横山 典子・丹野 喜美男
鈴木 史孝・金子 智一・永久保 陽子・山際 真穂・渡會 太一・古田 一行・木間 和也
宇野 友季子・森田 太郎・宇部 真広・名倉 崇広・藤田 政徳・小松 慎太郎・富松 亮太

大会次第 [2026 年 7 月 26 日(日)]

8:40 選手集合・諸注意

8:50 開会式

国歌斉唱		
大会宣言	大会実行委員長	坂本 巧
大会会長挨拶	大会会長	穂坂 泰
宗家挨拶	日本武藝躰道宗家	祝嶺 正献
来賓紹介		
優勝杯返還	山梨県躰道協会	
選手宣誓	埼玉県躰道協会	神谷 柚希
躰道五条訓	山梨県躰道協会	古屋 駿吏

9:20 競技開始

16:45 閉会式

褒賞授与		
講評	審判長	小林 学
閉会宣言	大会副実行委員長	山崎 真瑛